

遠別町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地で記録的な高温・大雨・大規模な干ばつ等の異常気象が多発しております。日本においても、過去に経験したことのない集中豪雨や猛暑等が頻発しており、地球温暖化が原因であると言われていています。

2015年に採択されたパリ協定では、「産業革命以前からの平均気温の上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑制するためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることが必要」とされています。

日本においては、2020年10月に政府が「2050年までに国内における脱炭素化を目指す」と宣言しております。さらに、気候変動への対策は、持続可能な開発目標（SDGs）における17の目標の中にも掲げられています。

このような背景の中、遠別町としても、脱炭素社会に向けた取り組みを強化し、豊かな自然環境の維持と経済社会が調和し、町民が快適に、また安心して住むことができる環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年4月28日

遠別町長

笹川 流志